



2021年10月28日

各 位

会 社 名 ローム株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員
 CEO 松本 功
 (コード：6963、東証第一部)
 問合せ先責任者 広報 IR 室室長 永吉 秀成
 (TEL. 075-311-2121)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月10日に公表した業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 400,000	百万円 49,000	百万円 48,000	百万円 34,000	円 銭 346.46
今 回 修 正 予 想 (B)	440,000	63,000	66,000	51,000	519.68
増 減 額 (B - A)	40,000	14,000	18,000	17,000	-
増 減 率 (%)	10.0	28.6	37.5	50.0	-
(参考)前期実績 (2021年3月期)	359,888	38,488	40,672	37,002	376.24

(2) 修正の理由

世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種普及等により回復傾向にありますが、感染症の再拡大が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続くものと思われま。エレクトロニクス市場においては電子化のニーズの高まりやライフスタイルの変化等により、全体として好調に推移しておりますが、半導体の品不足解消時期など需給関係には引き続き注視する必要があると考えております。

このような状況の中、2022年3月期においては、自動車関連市場や産業機器関連市場が引き続き好調に推移することに加え、家電や事務機など民生機器関連市場もライフスタイルの変化等により好調に推移する見通しです。以上より、売上は期初の予想を上回る見通しです。

営業利益についても売上増加による限界利益の増加などにより、期初予想を上回る見通しです。加えて、期初の想定レートよりも円安に推移した事による為替差益の発生もあり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、期初予想を上回る見通しです。

これらを考慮し、2021年5月10日に発表いたしました通期業績予想を上記の通り修正いたします。

尚、下期の為替レートは、1米ドル=110円を前提としております。

2 配当予想の修正について

(1) 予想の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月10日発表)	円 銭 -	円 銭 75.00	円 銭 -	円 銭 75.00	円 銭 150.00
今回修正予想			-	85.00	160.00
当期実績	-	75.00			
前期実績	-	75.00	-	75.00	150.00

(2) 修正の理由

当社は、安定的な配当の継続を基本に、連結配当性向 30%以上を目安としております。株主の皆様からの期待に沿うべく、期末の1株当たり配当金につきまして、通期連結業績予想の修正を踏まえ、85 円に修正いたします。これにより1株当たりの年間配当金は、中間配当金 75 円と合わせて 160 円となります。

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上